

高校生・流通経済大学生 との意見交換会

龍ヶ崎市議会では初の試みとなる取組として、議員が市内高校や流通経済大学を訪問し、生徒や学生と意見交換会を行いました。

日頃感じている地域の課題や、若い世代ならではの新鮮な発想を数多く聴くことができ、地域のことを“自分ごと”として真剣に考える姿勢に、まちの未来への大きな希望を感じました。

それぞれの学校に訪問した様子をご紹介します。



龍ヶ崎第一高等学校・附属中学校

龍ヶ崎一高・附属中では、毎週木曜日の午後を「探究活動」の時間としており、8つに分類されたテーマごとに中高生混合の少人数グループを作り、様々な調査・研究を行っています。

今回の意見交換会では、この探究活動を行っている各教室に議員が訪れ、各グループを回りながら、普段の活動内容や龍ヶ崎市の魅力を向上させるためのアイデアなどを、生徒からざっくばらんに聞かせていただく形式で実施しました。



インターネット等による情報収集、校外での実地調査、AI技術の活用、商品開発・イベントでの販売など、生徒たちが多様な活動を行っていることに感銘を受けました。

本年3月には探究活動の成果報告として発表会が行われる予定であるため、ぜひ拝見したいと考えています。

竜ヶ崎第二高等学校

竜ヶ崎二高では、2年生約160名を対象に、令和7年10月31日に事前説明として、市議会の活動紹介や議会クイズ、市政の現状と課題の説明を行いました。その後、令和7年11月8日に「龍ヶ崎が住みたい・住んでみたいと思えるまちになるには」をテーマにグループディスカッションを行いました。

グループディスカッションでは、生徒が4～5名ごとのグループに分かれ、自分の意見を書いた付箋を「子育て支援の充実」「地域資源の利活用」「公共交通の維持」「中心市街地の活性化」の4つの項目ごとに分けて、模造紙に貼りながら、意見を交換しました。生徒たちからは、「グループで龍ヶ崎の良いところを探すのが楽しかった」、「気が付かなかった龍ヶ崎の良いところを知ることができた」などの声をいただきました。

当日生徒から出された意見をご紹介します。

子育て支援の充実

- 子どもが遊べる公園を増やす
- 子どもを預ける施設を増やす
- 放課後に遊ぶ場所が少ない
- RINKがもう1つほしい
- 義務教育後の支援も考えてほしい
- 小中学校が多いから有効に活用してほしい。廃校の体育館などを貸し出してほしい



地域資源の利活用

- コロケ以外でも龍ヶ崎の有名な食べ物をつくる
- ジャムなどでトマトを有名にする
- たつのごやまの遊具をもっと増やす
- 木を使ったワークショップを開催する
- 龍ヶ崎市の和紙を使った折り紙や障子、書道の半紙などを活用してほしい



公共交通の維持

- コミュニティバスの朝の便がなくなり登校が不便になった
- 最終のバスをもう少し遅くまで出してほしい
- 市外に行くバス路線を増やしてほしい
- 龍ヶ崎市駅と竜ヶ崎駅の名前がわかりにくい
- AIオンデマンドバス「龍ヶ崎のるーと」が良い



中心市街地の活性化

- お店を増やしてほしい
(中心市街地にあってほしいお店について、たくさんのご意見がありました)
- イベント(お祭りなど)をもう少し増やす
- 「龍」のつく地名が珍しいから、もっと「龍」を売り出す
- 地域みんなで盛り上げている

流通経済大学

流通経済大学では、令和7年12月22日、議員から「龍ヶ崎市のスポーツ政策」と市議会の活動内容について説明し、その後、リアルタイムアンケートツール「Slido（※）」を使って、学生（約90名）とスポーツ政策に関する意見交換やスポーツに関する意識調査などを行いました。

流通経済大学と議会の連携事業は、今回が初めての取り組みでありましたが、学生が地域課題を“自分ごと”として捉え、地域との関わりや貢献の可能性を前向きに考えている様子がうかがえました。

また、「大学のあるまち」という本市の特性を生かすためには、継続的な対話の仕組みへ発展させていくことも検討していく必要があると感じました。

当日学生から出された意見をご紹介します。

※「Slido（スライド）」とは、質問に対して参加者がスマホやパソコンからその場で投票・回答でき、集計結果を即時に参加者に共有できる仕組みであり、学生の皆さんにとって、発言のハードルを下げながら参加感を高められる点がメリットです。



龍ヶ崎市のスポーツ政策に関する意見

- 龍ヶ崎にもプロスポーツチームを作る
- 大学生が出張コーチで小中学校でスクールを行う
- お祭り屋台のような感じで手軽にスポーツを体験できるイベントを開催する
- 地域の運動会を定期的で開催する
- 信号のない1周3～5kmの周回ランニングコースができたらうれしい
- スポーツと地域貢献を組み合わせたイベントを開催する
- 痩せたり、健康診断の結果が良くなったら何かプレゼントがもらえるような施策を行う
- 大学では栄養学なども扱っているため、高齢者や子どもたちの健康の維持増進のため、食生活の改善講座やフードモデル授業などを行う
- 駅からたつこのフィールドなどのスポーツ施設まで距離があるので、試合日などに、スポーツ施設行きのノンストップバスを運行する
- スポーツジムなどは高くて多くの人が行けないと思うので、無料のイベントを増やしたり、安く利用できるようにする
- 龍ヶ崎を使ったスポーツアニメをつくる
- マイナースポーツを発展させる

SNSを活用した情報発信について

龍ヶ崎市議会では、「市民に開かれた議会」を推進することを目的として、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram などを活用し、議会活動に関する情報を積極的に発信しています。



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram